

柏崎の新たな特産品へ—養殖ヒゲソリダイが順調に成長

新潟漁業協同組合柏崎支部が試験的な養殖に取り組んでいるヒゲソリダイが順調に成長しています。昨年度養殖分の約 500 尾を市場に出荷・販売しましたが、今年度は千尾を目標にしています。

成長したヒゲソリダイは、脂が乗る 1 月から 2 月頃に出荷を予定しています。飼料の研究を行い、昨年度以上においしいヒゲソリダイになることを期待しています。

1 養殖の概要

ヒゲソリダイの養殖は、柏崎の新たな特産品として昨年度から漁業者が独自で始めた取り組みです。今年度は、飼育数の増加や飼料の種類の変更などを試行し、実用化の検討を行っています。

柏崎市は、この取り組みに対して、飼料の現物支給を行っているほか、ヒゲソリダイの認知度を高めるため、2 月頃に試食会を行う予定です。

2 現在の成育状況

- (1) 飼育数 約 1,500 尾 (500 尾は放流予定)
- (2) 全長 20 センチメートル
- (3) 重量 250 グラム

3 昨年度養殖分の出荷状況

- (1) 出荷数 521 尾
- (2) 出荷時期 2 月下旬 252 尾
4 月上旬 126 尾
4 月中旬 143 尾
- (3) 出荷先 市内量販店

4 漁業担い手対策の取り組み例

- (1) 漁業者の取り組み
 - ・アラのブランド化
 - ・バイ貝の産卵床設置など
- (2) 柏崎市の取り組み
 - ・漁業就業者支援制度創設(新規漁業就業者支援事業、漁船購入費支援事業)



水槽中を泳ぐヒゲソリダイの稚魚



餌やりの状況